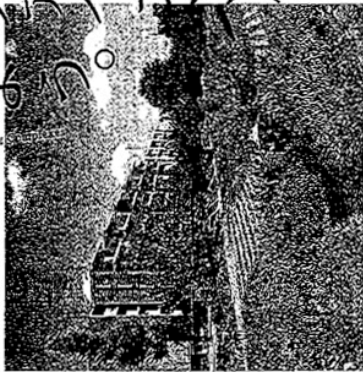


老朽の公営団地 再生へ

団地を リファイン しよう。

Refine Housing

青木茂
ARCHITECTURE
1971年設立
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112



青木茂さん

青木さんは、老朽化した建物の骨組みを利用し、デザインや用途を新たに生まれ変わらせる「リファイン建築」を提唱。福岡、大分県の商業ビル、役場、公民館などの改修を手がけ、多くの賞も受賞している。

3年前から集合住宅の再生にも取り組み、福岡県住宅供給公社から、空き室率が約4割に上る北九州市門司区の観音山団地について相談を受けた。同団地は1971〜74年に建設され、緩やかな傾斜地に13棟（計3

建築家・青木さんが本出版

福岡市や大分市を拠点に活動する建築家青木茂さん(62)が、老朽化した公営団地の再生法を示した著書「団地をリファインしよう。」(建築資料研究社 税別1500円)を出版した。教授を務める首都大学東京(東京)のゼミ生らと北九州市の団地を調査した事例などを紹介しており、全国の主要書店で販売されている。

(森洋二)

北九州市などでの調査紹介

30戸)が立ち並ぶ。

2009年5月16〜24日には、同大都市環境学部で指導するゼミ生や地元の北九州市立大の学生と空き室に寝泊まりし、間取りや周辺の住環境の調査、住人へのアンケートなどを実施。学校や病院、老人ホームなどの施設は充実しているものの、公園や駐車場の少なさや間取りへの不満が多く、最寄りのJR門司駅までの交通の便が悪いなどの問題点が浮かび上がった。

調査結果を検討し、細分化されている駐車場を集約して増設。子どもたちが遊べる広場を確保するなどの再生法を提案した。建物の階数を減らし、階段状にしてテラスを設けることや、家族構成で選べるように間取りの種類を増やすことも同公社に提言した。

著書では、このほか都内の団地の調査結果や再生法も紹介。青木さんは約40年前に全国で画一的につくられた団地は、生活スタイルの多様化に対応できなくなっている。地域ごとに人口の特性や周辺環境は異なり、再生には細やかな調査と対応が必要」と指摘している。

出版された「団地をリファインしよう。」

